

「ガンマモデルを用いた拡散 MRI による前立腺癌悪性度予測」のお願いとお知らせ

前立腺癌は全世界で3番目に多い癌であり、近年日本においても増加しています。前立腺癌の診断自体は直腸からの生検で組織を採取して行いますが、MRI は生検を行う患者さんの選択や、癌の局所的な進展を見るのに非常に有効であるとされています。特に MRI 検査のなかでも、拡散強調画像は前立腺癌の診断に非常に有用とされています。近年、MRI 装置の進歩により複数の観測点を使った拡散強調像が撮像可能になり、組織構造の複雑さをより反映できるようになってきています。本研究は、防衛医科大学校病院を受診されて、平成22年12月から平成27年4月までの期間において、前立腺疾患のために MRI 検査を施行された患者さんを対象とする後方視的研究（すでに行われたことをさかのぼって調査し、検討する研究）です。この研究は、臨床的に必要とされた MRI 拡散強調画像を解析することで、拡散 MRI が前立腺癌の悪性度予測に有用かどうか、また PSA 監視療法の患者選択に有用な情報を与えるかどうかを検討するものです。このような研究では、前立腺癌の組織の特徴をとらえ、MRI 診断をより正確なものとするための非常に有益な情報となることが期待されています。今後、研究のために患者さんを再検査するようなことはなく、患者さんのデータは ID などの個人情報とは無関係な番号を付与することで匿名化された状態で管理され、その他通常の診療と同様プライバシーの保護を致します。現在およびこれまでに防衛医科大学校病院で前立腺疾患により MRI 検査をされた患者さんで、画像データを研究に使わないでほしいというご希望があれば、研究リストの連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への画像使用を拒否する意思を表明されても、防衛医科大学校病院における診察には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

連絡先；防衛医科大学校病院 放射線医学講座 富田浩子

Tel : 04-2995-1211 内線 5517